



飯山・厚木国際カントリー
倶楽部から

(撮影：小林会員)

令和6年1月号 Vol. 237
(2024年)

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <https://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行：令和6年1月10日

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

今年は、当協会が創立して21年目の年になります。
干支では甲辰の年にあたり変革や激動の年とも言われ、
時代が動く年で大きな出来事が起こる年・努力が実って
夢が叶いやすい年とも言われ、努力が成果につながると
言われています。

創立20年の努力が、これからの行事・活動の成果に
つながる様に願っています。

新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ3年を経過します。ようやくコロナ禍前の
状況に戻りつつある中で、世の中が変化し、生活も変化してきています。
その様な時代だからこそ、当協会設立目的の考え方に立ち返り、忠実に「目的遂行」
を達成する事に、こだわり続けることが使命だと思っております。

これからの更なる発展の夢は、皆さんの協力があればこそ実現するものと信じて
おります。まずは方針のC・S・E（コミュニケ・スキルアップ・エンジョイ）にひ
とつひとつ着実に取り組んでいきましょう。
どうか皆さん、今年もよろしく申し上げます。



令和6年 元旦
会長 田頭 文昭

《荻野の歴史「鳶尾古墳跡から山中藩城址」を辿る》

行事区分：企画ガイド（歴史探訪）

日 時：12月7日（木） 9：30～14：15

場 所：中・下荻野地区

参 加 者：一般9名、会員5名

12月ながら日中は20℃に迫る好天気で、荻野の紅葉も終わりを迎えようとしており街歩きには絶好の条件でした。

荻野団地バス停に集合し、初めは鳶尾古墳を見学しました。この古墳は30mの周溝が発見されたものの発掘調査は行われていない古墳ですが、南側の斜面は奈良から平安時代に大きな集落跡があり律令制国家を支える拠点集落があった場所とも推定されています。

養徳寺ではご住職にお寺の由来を説明していただき、江戸時代に鳶尾山頂にある養徳寺所有の金毘羅宮そばでは伝染病のため見放された人を治療したお坊さんがいたことや、養徳寺や荻野山中藩陣屋跡の周りの低くなった地形は縄文時代には海で、養徳寺の山号「舟引山」の由来になったとの話もお聞きしました。

次の戒善寺は、源頼朝の持仏を祀っており日蓮上人が頼朝持仏を参拝に訪れたことをきっかけに宗派が変わった事や、自由民権運動が盛んな時期があった事を説明しました。この後戒善寺の本堂に上げていただき、頼朝の持仏であった釈迦如来立像や江戸時代に描かれた涅槃図を見学しました。広町公園で休憩後、荻野山中藩陣屋跡・鐘鑄神社を訪れてこの地の歴史を説明しました。

子合地蔵では保存会の方と三平会員ご夫妻の出迎えをうけ、秘仏の子合地蔵尊は見る事が出来なかったものの、お堂の中で詳しい説明を受けました。昼食は隣の集会場を提供していただきました。下荻野の鎮守であった子合日吉神社を訪問後、法界寺を訪問し鑄物師の木村家のお墓をお参りした後、荻野新宿六斎市を説明しました。

今回の歴史探訪は行程が長く、説明内容も豊富と予測し、急遽半日の行程を昼食持参に

変更したことから、時間の関係で午前だけで帰宅する人もいましたが残りの方は最後まで元気に歴史探訪を行いました。

参加の方の御意見では、「初めての所もあり良かった。」「良い面でも悪い面でも観ボウの緩さが出た歴史探訪だった。」とのご意見がありました。関係者の皆様には様々なお世話をいただき、感謝いっぱい歴史探訪でした。（森島 記）



鳶尾古墳



荻野山中藩陣屋跡

《湘南平ハイキング&旧東海道大磯宿》

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：12月16日（土）9：00～16：00

場 所：大磯町・平塚市

参加者：一般14名、会員8名

5月29日に予定していた湘南平絶景ハイキング&旧東海道大磯宿は雨天中止となり、今回再度計画立案し実行しました。この企画ガイドは、ホームページが充実してきた事から広報あつぎでの募集案内ではなくホームページに募集案内を載せ、ホームページの閲覧拡大をする事、及びハイキング企画ガイドコースのマンネリ化防止等を意図して計画しました。また春の下見時に湘南平東側の高麗山（こまやま）のハイキングコースは我々のお客様には危険と考え、安全第一でコースを修正しました。



旧東海道大磯宿

しかし当日は標高84mの高田公園で休息し、登り始めた所で79歳の女性のお客様が転倒し、その後ハイキングを継続したが、途中から会員4名でサポートし、他のお客様と会員から遅れて標高180mの湘南平に向かいました。バス停のある湘南平に到着し、それまで無口で無表情だったお客様は安心されたのか明るい表情に戻り湘南平の絶景を楽しまれたと思います。展望塔に登られたお客様は360°の大パノラマと会員の楽しいガイド

に笑顔になっておりました。途中転倒されたお客様から無事帰宅との連絡を頂きました。今回の件を教訓とし、更なる安全確保の検討が必要と認識しました。

旧東海道では、江戸時代を思わせる松並木に加え、大磯の遊女“虎女”と曾我兄弟の“蘇我十郎祐成”との悲恋の物語をお客様に聞いて頂きました。（山下潔記）



湘南平の頂上広場

《こんにゃく作り体験》

行事区分：懇親推進

日 時：12月5日（火）8：30～16：00

場 所：上荻野

参加者：会員9名

今年も会員宅で行われるこんにゃく作りに参加しました。天気予報では雨の予報でしたが曇天で寒い1日のスタートでした。

先ず集まったメンバーは例年の手順で用意された道具を使い、最初にこんにゃく芋を水の中ですりおろし、おろしたものが沈殿するまで待つことになりました。

その待ち時間に収穫してあったゆずを使いジャムを作りました。ジャムにゆずの種が残らない様にそれを取るのが思いのほか大変な作業になりました。何度も指で取り除き、皮は細かく切ってジューサーにかけ、後はゆっくり煮込みました。その間にも別に用意していただいた八頭とサツマイモの焼き芋をいただきました。

いよいよ私たちが集まる前にすり終わって4時間経過したこんにゃく糊から先に固めることになり凝固剤を加えました。10分ほど放置した後、寸胴で沸かしたお湯にこんにゃく糊をお玉ですくって入れました。この時いつもなら丸くなるこんにゃくが、形になりませんでした。このままでは失敗です。そこで次に私たちがすったこんにゃく糊には新しい凝固剤を変えて再挑戦しました。皆心配しましたが2回目はお玉の形となり今回のこんにゃく作りも成功しました。



家を出る時に皆さんは、「今日の夕食はこんにゃくのお刺身だ。」と話してきたようです。2回目がうまく行き、お土産として持って帰ることができました。いつもは成功するのになぜ1回目はおまじないか疑問に思いながら今年のこんにゃく作りが終わりました。今回もこんにゃくに加えお芋、ジャム、柿などたくさんのお土産をもらって帰りました。私の家でもこの日の夕食はこんにゃくのお刺身、

翌日の朝にはトーストにゆずジャムをぬっていただきました。

少し寒かったですが楽しい一日を終える事ができました。この日の為に多くの準備を本当にありがとうございました。次回もよろしくお願ひします。 (小林 記)



こんにゃく作り



ゆずジャム作り

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
12月 5日	上荻野	コンニャク作り体験	会員 9名
12月 7日	中・下荻野地区	企画ガイド 「荻野の歴史を辿る」	会員 5名
12月 9日	アミューあつぎ	定例会	会員 21名
12月 9日	アミューあつぎ	企画ガイド配布資料製作方法の実習	会員 10名
12月 10日	大磯町・平塚市	企画ガイドの下見 「湘南平ハイキング&旧東海道大磯宿」	会員 6名
12月 11日	睦合西公民館	創立20周年記念誌編集委員会#11	会員 4名
12月 16日	大磯町・平塚市	企画ガイド 「湘南平ハイキング&旧東海道大磯宿」	会員 7名
12月 17日	小鮎公民館	創立20周年記念誌編集委員会#12	会員 6名
12月 18日	アミューあつぎ	役員会（来年度計画の検討）	会員 7名
12月 23日	小鮎公民館	創立20周年記念誌編集委員会#13	会員 6名
12月 25日	荻野公民館	企画ガイドの資料読合わせ 「大山街道を歩く」	会員 7名
12月 28日	小鮎公民館	創立20周年記念誌編集委員会#14	会員 6名
1月 5日	相川公民館	編集会議	会員 3名

編集後記

2020年から始まった新型コロナ感染もようやく下火になり、企画ガイドが以前のように開催できるようになってきました。12月にコンニャク作り体験がありました。上荻野の三平会員夫妻の別邸で十数年間にわたって、3月頃に手作り味噌、12月頃に手作りコンニャクの体験が行われてきました。自宅の畑で採れた大豆、蒟蒻芋などの材料を、従来からの加工方法で作業を体験する事が出来ます。お店で買ったものとは違い、新鮮な味が楽しめました。いつも有難うございます。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘